

MKが開発した“税務コラム AI 税理士向けブログ記事作成ソフト”を使って5分で執筆した原稿がこちら↓↓

ガンダムのマグネット・コーティングは修繕費？それとも資本的支出？

ホワイトベースの経理担当者からご質問いただきました。

「昨日、モスク・ハン博士が来て、ガンダムにマグネット・コーティングという修理っぽいことをしたらガンダムの反応速度が3倍になったとアムロくんが喜んでいたのですが、私は経理処理が分からず困っています。これは修繕費でよいのでしょうか？」なるほど。

どうやら宇宙世紀になっても、経理マンは**「資本的支出か、修繕費か」問題**から逃れられないようです。

今回は、ガンダムのマグネット・コーティングを題材に、資本的支出と修繕費の違いについて考えてみましょう。

そもそもマグネット・コーティングとは何をしたのか

『機動戦士ガンダム』第40話「エルメスのララァ」に、モスク・ハン博士が登場します。この頃になると、アムロの能力が上がりすぎて、ガンダムの反応速度がアムロについていけなくなっていました。

そこで施されたのが、マグネット・コーティングです。

そして処置を終えたガンダムに乗ったアムロは、その反応速度が大幅に向上したことを実感します。

ガンダムファンとしては「これでガンダムがアムロについていける！」となるのですが、経理マンは違います。

性能が上がった？

ここを聞き逃してはいけません。

「長持ちするようになったら資本的支出」だけではありません

資本的支出と修繕費の違いについて説明するとき、よく出てくるのが「使用可能期間」です。

固定資産に対して何らかの支出を行い、それによって使用可能期間が延びたのであれば、その部分は資本的支出として考えます。

ここまでは覚えている方も多いのではないのでしょうか。

ところが、資本的支出を考えるうえでもう一つ重要なのが、

「固定資産の価値を高めたか」

という視点です。

個人的には、実務ではこちらを忘れてしまうケースの方が気になります。

「壊れたものを直した」「部品を交換した」と聞くと、つい修繕費と考えたくなります。しかし、その結果として以前より性能が上がっているのであれば、話は変わってきます。

反応速度が3倍なら、さすがに修繕費とは言にくい

資本的支出の例として、機械の部分品を特に品質または性能の高いものに取り替えた場合があります。

では、ガンダムはどうでしょうか。

マグネット・コーティングを施す前と後で性能が変わっていないのであれば、単なる維持・原状回復として修繕費を検討する余地もあるでしょう。

しかし、今回は違います。

アムロ自身が、ガンダムの反応速度が大幅に向上したことを実感しています。

つまり、マグネット・コーティングによってガンダムの性能が明らかに向上したと考えられます。

そうすると、これは単なる原状回復ではありません。

ガンダムという固定資産の価値を高めるための支出として、資本的支出と考えるべきでしょう。

ホワイトベースの経理担当者としては、「モスク・ハン博士が修理していたから修繕費」と処理したくなるかもしれません。

しかし、作業の見た目だけで判断してはいけません。

ホワイトベースの経理担当者への回答

ということで、冒頭のご質問への回答です。

修繕費ではなく、資本的支出として検討してください。

重要なのは、

「何をしたのか」

だけではありません。

「その支出によって、その固定資産がどうなったのか」

を見ることです。

故障したものを元の状態へ戻したのであれば、修繕費として考えやすくなります。

一方、今回のガンダムのように、支出によって従来より性能が向上したのであれば、資本的支出に該当しないかを検討する必要があります。

現実の経理実務でも、

「修理工事と書いてあるから修繕費」

「部品交換だから修繕費」

と、作業名称だけで判断するのは危険です。

請求書だけを見ても分からない場合には、実際に何を行い、その結果として固定資産がどう変わったのかを現場へ確認する必要があります。

その意味では、

「マグネット・コーティングしたら反応速度が大幅アップしました」

というアムロからの報告は、経理担当者にとって非常に重要な情報だったのです。

ありがとう、アムロくん。

ところで、ファーストガンダムはテレビアニメ版を見てほしい

今回この記事を書こうと思ったのは、『機動戦士ガンダム』第40話「エルメスのラァ」を見ていたことがきっかけです。

資本的支出と修繕費の違いについては、昔から現在まで、経理や税務の実務でよく質問される論点です。

まさかガンダムを見ながらこの論点を思い出すとは思いませんでした。

そして税務とはまったく関係ありませんが、一つだけ。

ファーストガンダムは、ぜひテレビアニメ版も見ていただきたい。

劇場版もいいのですが、テレビアニメ版をじっくり見ていると、こうした細かな場面も楽しめます。

そして経理マンが見ると、なぜか税務ネタまで転がっています。

まとめ

資本的支出というと、「固定資産の使用可能期間が延びた場合」と覚えている方は多いと思います。

しかし、それだけではありません。

固定資産の価値や性能を高めるための支出も、資本的支出を考えるうえで重要です。

ガンダムのマグネット・コーティングは、その違いを考えるには非常に分かりやすい事例です。

修理のような作業をしていたとしても、その結果、ガンダムの性能が大幅に向上したのであれば、単なる修繕費とは考えにくくなります。

宇宙世紀になっても、

「これは資本的支出ですか？ それとも修繕費ですか？」

という質問は、おそらくなくならないのでしょう。

タイトル案 (5案)

1. ガンダムのマグネット・コーティングは修繕費？それとも資本的支出？
2. ガンダムの反応速度が大幅アップ！経理マンなら「資本的支出」を疑おう
3. ホワイトベースの経理担当者から「マグネット・コーティングは修繕費ですか？」と聞かれたら
4. 『機動戦士ガンダム』で学ぶ資本的支出と修繕費の違い
5. モスク・ハン博士、その作業は修繕費では落とせないかもしれません

【おすすめ】

ガンダムのマグネット・コーティングは修繕費？それとも資本的支出？

ガンダムファンには「マグネット・コーティング」で内容が伝わり、経理マンには「修繕費？それとも資本的支出？」で論点が一発で伝わります。